

公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会  
令和6年度 全国教職員研修会

## 介護福祉士養成施設の未来像 ～介護福祉士の人間力の涵養と養成教育の価値～



蔵王のおかま（五色湖）

日時	令和6年10月24日（木）・10月25日（金）
会場	山形テルサ 〒990-0828 山形市双葉町1丁目2番3号
開催方法	ハイフレックス方式（対面＋オンライン）
主催	公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会
主管	日本介護福祉士養成施設協会 東北ブロック会
後援	厚生労働省 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 公益社団法人 全国老人保健施設協会 公益社団法人 日本介護福祉士会 山形県 山形市 一般社団法人山形県老人福祉施設協議会 山形県老人保健施設協会

\*この研修会は、競輪の補助を受けて開催します。

## テーマ

介護福祉士養成施設の未来像～介護福祉士の人間力の涵養と養成教育の価値～

## 開催趣旨

介護を取り巻く環境はここ数年で大きく変化しています。

エッセンシャルワーカーとしての存在価値が認知されつつある一方で、少子高齢化による慢性的な人材不足から脱却できないばかりか、社会的評価は依然として高まらない現状が続いています。介護人材不足に対する打開策として、介護ロボットや ICT 機器の導入、外国人介護福祉職の活用などがクローズアップされています。介護サービスの提供者は、単なる「お世話」に終始してはならない。そのために介護福祉士養成施設では「支援」に対して多角的なカリキュラムをもとに教育活動を展開しておりますが、介護を取り巻く環境は目の前の利用者を支援していくための量的な支援に偏重していると言わざるを得ません。教育者として、実践者として、いかに利用者に対して適切な介護を提供していくか、その介護はどのようなものであるか、その意義や意味を再確認する必要があるのではないかと考えております。

今回のテーマとして「介護福祉士養成施設の未来像～介護福祉士の人間力の涵養と養成教育の価値～」を掲げました。これは、時代のニーズに即してあり方が問われる介護福祉士にとって、その普遍的な存在意義を検討するにあたり、現在地はどのようなものなのか、養成教育において介護福祉士のコア（核）はどのようなもので、どういった教育が必要なのかについて教育現場あるいは実践現場からの問題提起や取り組みを通して協議して頂きたいと考えております。養成教育を経た介護福祉士は、介護の中心的存在であり、決して失うことのできない人材であるためにどのようにするか、皆さんと検討できる機会だと捉えております。

## 研修内容

<研修 | 日目> 会場：アプローズ

時間	内容
11:30～12:30	受付
12:30～12:50	開会式 主催者挨拶【オンライン】 日本介護福祉士養成施設協会 会長 澤田 豊 教育力向上委員会委員長挨拶 群馬医療福祉大学短期大学部 理事長 鈴木 利定 実行委員長挨拶 東北文教大学短期大学部 学長 須賀 一好

12:50~13:20	<p>行政説明【オンライン】  「介護人材確保の現状と介護福祉士養成への期待」  厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室  室長 吉田 昌司 氏</p>
13:20~14:20	<p>基調講演  「学生の多様化における学校（教員）の向き合い方」  東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科  教授 竹之内 章代 先生</p>
15:00~16:30	<p>教育力向上委員会主催 研修プログラム</p> <p>A.領域「人間と社会」の講義の進め方 会場：研修室 A  コーディネーター：白井幸久（群馬医療福祉大学短期大学部）  （1）オリエンテーション  （2）「人間の尊厳と自立」の学習ポイント【オンライン】  登壇者：黒澤 貞夫 氏（群馬医療福祉大学大学院特任教授）  （3）「人間関係とコミュニケーション」の学習ポイント  登壇者：伊藤 優子 氏（龍谷大学短期大学部）  （4）意見交換会、まとめ</p> <p>B.領域「介護」に関する教育方法の提案 会場：アプローズ  （1）ICT 介護関連資格の紹介  ・司会：津田 理恵子 氏（神戸女子大学）【オンライン】  ・登壇者：小林 宏気 氏（東京未来大学福祉保育専門学校、  東京都立産業技術高等専門学校）  ・ゲスト：九藤 博弥 氏（インフィック株式会社）</p> <p>（2）科目間連携が可能な動画教材の作成  ・登壇者：  野田 由佳里 氏（聖隷クリストファー大学）  松田 愛美 氏（神奈川県立保健福祉大学）【オンライン】  高橋 由紀 氏（北海道医療大学）  松山 美紀 氏（国際医療福祉大学）  齊藤 美由紀 氏（日本福祉教育専門学校）</p>
16:40~17:25	<p>「介護福祉士養成のあり方検討委員会」報告  小笠原 靖治 氏（福岡介護福祉専門学校学校長）</p>
17:25~17:45	<p>諸連絡 等</p>

<研修2日目>

時 間	内容
9:00~9:20	受付
9:30~11:20	分科会 <u>第1分科会 災害時・緊急時における多職種連携教育</u> <u>第2分科会 ICT・介護ロボット教育</u> <u>第3分科会 介護福祉士養成学校存続に向けて</u>
11:30~11:45	閉会式 閉会挨拶 次期開催ブロック 挨拶      近畿ブロック会

\*\*\* 介護のロボット展 in 山形 \*\*\*

開催日時      1日目 10/24 (木) 11:00~18:00  
会 場          2階リハーサル室

詳細につきましては、チラシをご覧ください。

## 基調講演

「学生の多様化における学校（教員）の向き合い方」

東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科

教授 竹之内 章代 先生

### 【講師プロフィール】

#### 社会福祉士

日本社会事業大学・大学院修士課程を修了

現在、東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科教授

#### <研究活動>

発達に遅れのある子どもや障がいがある子どもたちへの支援と家族をささえるための療育システム構築について研究している。また、それらを支える人材育成として、福祉専門職向けの研修の実施と評価を研究している。

#### <社会的活動>

一般社団法人茨城県社会福祉士会会長

社会福祉法人茨城県社会福祉協議会会長

特定非営利活動法人スペース空理事長

宮城県契約締結審査会委員長（日常生活自立支援事業）

茨城県自立支援協議会会長

茨城県社会福祉審議会委員長

発達障害学会常任編集委員

#### <実践活動>

茨城を拠点に、相談支援事業と生活介護の他、発達に遅れのある子や気になる子どもなどの発達相談や療育支援などを行い、保護者からの子育て相談を行っている。

また、知的障がいの方の6名の後見人等の活動を行っている。

## 第1分科会

会場	研修室 B
分科会テーマ	災害時・緊急時における多職種連携教育
分科会趣旨	<p>介護福祉の基礎教育において、他職種との連携の重要性は多くの科目において教授されているところである。災害時や緊急時においては、利用者の命と安全を守り、日常を取り戻すまでのプロセスにおいて、介護福祉職は、救急救命士、医師、看護師、保健師、介護支援専門員、行政等、多職種と連携することが重要である。</p> <p>この分科会では、災害や緊急時に関する介護福祉教育の実践例や災害救援活動の実際について話題提供をしていただき、多職種との連携を中心としたディスカッションを通して、今後の介護福祉教育に生かすことをねらいとして実施する。</p>
分科会目的	災害時・緊急時の多職種連携に関する教育の実践例や、災害支援活動における多職種連携の実際から、介護福祉士養成における災害時・救急時の多職種連携教育の意義と授業展開について考える。
分科会方式	パネルディスカッション
座長	高橋 美岐子（秋田県 日本赤十字秋田短期大学）
進行	千葉 智子（福島県 国際医療看護福祉大学校）
内容	<p>9：30 ～ 9：40</p> <p>挨拶・説明（分科会の趣旨、各パネリストの紹介、進め方等）</p> <p>9：40 ～ 10：40 話題提供</p> <p>① 9：40 ～ 10：00</p> <p>日本赤十字秋田短期大学介護福祉学科 講師 佐藤 沙織 氏</p> <p>【テーマ】介護福祉士養成における災害時の多職種連携</p> <p>【概要】15年前より展開してきた災害介護に関する教育内容と、能登地震における支援を通して得た多職種連携の意義等について紹介いただく。</p> <p>② 10：00 ～ 10：20</p> <p>社会福祉法人 旭川やすらぎ会 魁聖園 居宅介護支援事業所</p> <p>田口 由貴子 氏（介護福祉士・ケアマネジャー）</p> <p>【テーマ】能登地震における DWAT の活動と多職種連携の実際</p> <p>【概要】能登地震において、DWAT の一員として災害支援活動にあたった経験から、支援活動と多職種連携の実際を紹介していただく。</p>

	<p>③ 10:20 ~ 10:40</p> <p>国際医療看護福祉大学校 救急救命士科 学科長 高橋 利行 氏</p> <p>【テーマ】緊急時における救急隊との連携の必要性について</p> <p>～介護総合マネジメント学科・救急救命士科のシミュレーション合同授業を通して～</p> <p>【概要】介護総合マネジメント学科と救急救命士科の合同授業をはじめて10年になる。施設等による救急要請が増加の一途を辿る現在、互いの職業理解や多職種連携によって得られる教育効果について紹介する。</p> <p>10:45 ~ 11:25</p> <p>ディスカッション・まとめ</p>
--	--

#### 【講師プロフィール】

佐藤 沙織 氏

##### <略歴>

2013年 日本赤十字秋田短期大学 介護福祉学科 講師

##### <災害支援経歴>

2011年 東日本大震災 宮城県陸前高田市

2019年 令和元年度台風第19号 石巻市

2024年 能登半島地震 金沢市

令和6年7月豪雨 酒田市

田口 由貴子 氏

1999年10月 社会福祉法人 やすらぎ会入職

介護職員：特別養護老人ホーム魁聖園、魁聖園ケアハウス

2009年4月 社会福祉主事資格取得

生活相談員：魁聖園ケアハウス、特別養護老人ホーム魁聖園、  
魁聖園デイサービスセンター

2016年12月 介護支援専門員資格取得

生活相談員・介護支援専門員：特別養護老人ホーム魁聖園

2023年2月 介護支援専門員：魁聖園居宅介護支援事業所（現在に至る）

高橋 利行 氏

##### <経歴>

1993年 宮城県 仙南地域広域行政事務組合消防本部 入職

1995年 特別救助隊員拝命

1997年 特別救助隊兼救急隊員

2003年 緊急消防援助隊員登録  
2005年 救急救命士取得 救急隊長併任  
2012年 総務省消防庁 消防大学校救急科修了  
2013年 宮城県消防学校教員派遣  
2016年 消防本部救急係長  
2017年 宮城県メディカルコントロール指導救命士（事後検証・災害対策担当）  
2020年 消防本部退職  
2020年 学校法人国際医療看護福祉大学校入職 救急救命士科 学科長 現在に至る

<所属学会>

日本災害医学会員

多数傷病者対応標準化トレーニングコース インストラクター

<主な災害対応経験>

2011年 東日本大震災

2016年 台風10号 岩手県岩泉町 緊急消防援助隊宮城県隊

2018年 北海道胆振東部地震 北海道厚真町 緊急消防援助隊宮城県隊

2019年 令和元年台風19号

## 第2分科会

会場	アプローズ
分科会テーマ	ICT・介護ロボット教育 ～ICT/介護ロボットを介護教育の中に組み入れるためには？～
分科会趣旨	介護人材不足に対する施策として「生産性向上」があり、ICT化・介護ロボットは介護施設では積極的に導入されている。その一方で、介護福祉教育では生活支援技術の中にある「福祉機器の使用」に関する項目で触れられているのみである。介護実習で介護ロボットに触れる機会があるとは考えられるが、施設によって導入状況等にも差異は生じる可能性もあるため、実践現場と介護教育との間に乖離が生じている現状もあり、決して看過できるものではない。今後の介護福祉士養成においてICT・介護ロボットの学習について議論を深める必要がある。
分科会目的	多くのICT/介護ロボットが開発・導入されているなかで、介護福祉士を養成する学校として、何を大切に教育していくのか、議論が十分ではないと考える。単なる「使い方」ではない、養成校で展開する「ICT/介護ロボット」教育のあり方を検討したい。
分科会方式	ハイフレックス開催（対面+ Zoom ミーティング）によるシンポジウム
座長	堀江 竜弥（宮城県 仙台大学）
進行	三國 美香（青森県 青森明の星短期大学）
コメンテーター	池森 康裕 氏（北海道医療大学 看護福祉学部 福祉マネジメント学科）
内容	<p>9:30 ～ 9:40 開会宣言、趣旨説明、分科会開催における諸注意、 登壇者およびコメンテーター紹介</p> <p>9:40 ～ 9:55 話題提供 仙台大学 体育学部 健康福祉学科 准教授 堀江 竜弥 氏 【概要】ICT/介護ロボットに関する話題提供をするにあたり、介護福祉教育におけるICT/介護ロボットの位置づけ、ICT/介護ロボットを取り巻く状況、活用可能性として関係機関との連携について紹介する。</p> <p>9:55 ～ 10:15 発表①【オンライン】 厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課 福祉人材確保対策室 介護福祉専門官 鈴木 真智子 氏 【概要】介護を取り巻く現状や介護福祉士養成におけるICT/介護ロボットを活用する方向性、これまで厚生労働省で実施した介護ロボットの調査結果の報告等も含めて行政の立場から紹介いただく。</p>

	<p>10:15 ~ 10:35 発表②</p> <p>東日本国際大学 健康福祉学部 教授 金成 明美 氏</p> <p>【概要】介護ロボットを介護福祉教育に活用している取り組みについて、その実際を紹介頂くとともに、介護福祉士養成における ICT/介護ロボット教育の在り方について問題提起していただく。</p> <p>10:35 ~ 10:45 小休憩・会場設営</p> <p>10:45 ~ 11:15 ディスカッション</p> <p>会場およびオンライン参加者からの質疑応答、等</p> <p>11:15 ~ 11:25 まとめ</p> <p>北海道医療大学 看護福祉学部 福祉マネジメント学科</p> <p>講師 池森 康裕 氏</p>
--	---

#### 【講師プロフィール】

堀江 竜弥 氏

<資格>

看護師・保健師

<職歴>

2014年 仙台大学 体育学部 健康福祉学科 講師

2018年より現職

<専門領域>

高齢者支援、介護福祉教育（特に ICT/介護ロボット）

<社会貢献>

日本介護福祉学会（理事）

介護福祉士養成大学連絡協議会（副会長）

介護教員講習会 講師（介護過程の展開方法）

鈴木 真知子 氏

<資格>

介護福祉士・社会福祉士

<職歴>

介護福祉士養成に携わった後、2021年より現職。

金成 明美 氏

<資格>

介護福祉士・保育士・幼稚園教諭2種免許

<職歴>

1990年 いわき市社会福祉協議会

2000年 いわき短期大学幼児教育科専攻科福祉専攻

2018年 東日本国際大学健康福祉学部社会福祉学科

<専門領域>

地域福祉

介護福祉教育（介護 VR）

<社会貢献>

いわき市介護保険運営協議会副会長

### 第3分科会

会場	研修室 A
分科会テーマ	介護福祉士養成学校存続に向けて ～養成校継続活動の展開～
分科会趣旨	時代のニーズに即してあり方が問われる介護福祉士にとって、それを担う養成校の現在地はどのようなものなのか、養成教育において介護福祉士のコア（核）はどのようなもので、こういった視点で継続活動が必要なのか。「広報」「人材確保」「実践、戦略（技術）」に着目して今後の方向性の確認、対策や活動実践内容等を共有していく。
分科会目的	参加した方が「自分たちに活かせる」内容として、今後のブランディングの方向性も含め、養成校継続に必要な視点についてそれぞれの「今」を共有する。それに即した内容を継続活動につながる具体的な取り組み、ヒントを提供できるような機会にしたい。
分科会方式	パネルディスカッション
座長	白澤 宏明（岩手県 専修大学北上福祉教育専門学校）
進行	柴田 順子（山形県 新庄コアカレッジ）
タイムスケジュール	<p>9：30 ～ 9：40 分科会趣旨説明 各話題提供者の紹介</p> <p>9：40 ～ 10：25 話題提供</p> <p>① 9：40 ～ 9：55 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会 総務・政策委員会 委員 北海道社会福祉審議会 委員 学校法人北斗文化学園 北海道福祉教育専門学校 学校長 澤田 乃基 氏</p> <p>【概要】全国の養成校の推移や現状を情報提供してもらい、どのような活動や、広報から養成校教育に何を求めるか等を知る。また、留学生を含む養成校の学生を、どのように進路形成させ、成業からの脱落をどのように防いでいくのかを話題提供していただく。</p> <p>② 9：55 ～ 10：10 一般社団法人 みらいキャリア研究所 代表理事 長谷 哲雄 氏</p> <p>【概要】高校生を対象に介護福祉士への進路をどう考え、どう進めているか、または何が敬遠させているのかを理解する。また経営者におけた戦略的内容、広報の技術等を紹介いただく。</p>

	<p>③ 10:10 ~ 10:25</p> <p>公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会 副会長 和歌山 YMCA 国際福祉専門学校 理事</p> <p style="text-align: right;">井之上 芳雄 氏</p> <p>【概要】留学生を入れることで存続している養成校も多い現状もある中、今年度より入管が厳しくなるなど留学生の確保はもちろん、管理体制の変更点をお話いただき、その背景や情報を共有する。</p> <p>10:25 ~ 11:00 ディスカッション</p> <p>11:00 ~ 11:25 まとめ</p>
--	---

### 【講師プロフィール】

澤田 乃基 氏

#### <現在の職業>

2008年 学校法人北斗文化学園北海道福祉教育専門学校  
学校長 兼 副理事長 現在に至る

#### <団体職>

2021年 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会  
総務・政策委員会 委員 現在に至る

#### <公 職>

2005年 北海道 室蘭市保健福祉推進審議会 委員 現在に至る  
2007年 北海道 室蘭市障害者支援区分認定等審査会 判定委員 現在に至る  
2008年 北海道 室蘭市子ども子育て会議 会長 現在に至る  
2021年 北海道社会福祉審議会 委員 現在に至る  
2024年 在北海道ミャンマー連邦共和国 名誉領事 現在に至る

長谷 哲雄 氏

#### <略歴>

##### ◇外資系大手人材総合会社-支社長、管理職

2001年6月～2009年12月：新拠点立ち上げ、多拠点・新規部署の開設、運営管理

##### ◇2010年1月～：キャリア教育支援事業、研修/セミナー講師、キャリアカウンセリング 等

##### ◇一般社団法人みらいキャリア研究所 - 代表理事/NPO 法人ソーシャレック-理事

2018年4月～：学生・社会人のキャリア教育支援、キャリアコンサルタント事業、研修/セミナー講師、  
専門学校キャリア講師、人事業務/制度設計/組織改善/ワークライフバランス支援  
等

井之上 芳雄 氏

<履歴>

- 1978年3月 京都産業大学外国学部英米語学科国際関係論専攻 卒業
- 1978年4月 大阪 YMCA 入職  
(学校教育部門12年・社会教育部門13年)
- 2003年2月 和歌山 YMCA 移籍
- 2003年3月 NPO 法人和歌山 YMCA 総主事就  
学校法人和歌山 YMCA 国際福祉専門学校校長就任
- 2018年3月 退職・学校法人和歌山 YMCA 理事就任
- 2018年4月 衆議院議員浮島とも子事務所スタッフ活動開始  
現在に至る

<社会的活動>

- 2007年5月 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会・参与就任
- 2013年5月 同会・理事就任 (同会近畿ブロック代表理事)
- 2015年7月 同会・副会長就任 留学生支援委員会委員長
  
- 2014年5月 和歌山県福祉人材確保推進協議会委員
- 2016年9月 厚生労働省社会保障審議会・福祉人材確保専門員会委員
- 2020年6月 公益財団法人国際人材普及振興協会 理事就任
- 2022年3月 一般社団法人グローバルカイゴ検定協会 理事就任
- 2023年1月 NPO 法人外国人介護人材を支援する連絡協会 理事就任

## 山形テルサ館内のご案内

### 3階見取り図



1 アプローチ

研修1日目

第2分科会

教育力向上委員会主催 研修プログラム B 領域

「介護福祉士養成のあり方検討委員会」報告

2 ホワイエ

受付 クローク 書籍等展示販売

3 研修室 B

第1分科会

7 研修室 A

第3分科会

教育力向上委員会主催 研修プログラム A 領域

2階 リハーサル室

介護のロボット展 in 山形

## 開催地 山形県のご案内

山形県には、意外な魅力がたくさんあります。自然豊かな土地であることは誰もが知るところですが、庄内、最上、村山、置賜の4つにエリアが分かれていて、それぞれ生活事情が異なることはあまり知られていないかもしれません。同じ県内でも場所によってさまざまな顔を持つだけに、季節ごとの魅力にもバリエーションがあります。ご当地グルメはさくらんぼが有名ですが、その他にも玉こんにゃくや芋煮、麦切りなどの家庭料理が特徴です。

みなさまとお会いできる10月下旬、秋の山形は紅葉が見ごろを迎えるだけでなく、新そばの風味とのどごし、ブドウやラ・フランスなど果物の甘さも楽しめる時期でもあります。教員間の親睦を、ここ山形で深めて頂いただけでなく、多忙な業務と距離を“ちょっと”置いて、気分転換もできるような研修会でもありたいと思います。詳しくは公式観光サイトをご参照ください。

やまかたへの旅  
山形県公式観光サイト



## 協賛

中央法規出版株式会社  
株式会社日本医療企画東北支社  
ショーワグローブ株式会社